

**YAMAHA****セミハードサドルバッグ
組付・取扱説明書****適応機種**

XV1900CU / XVS1300CA

はじめに

工数：0.1h

❑お客様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。

本書には商品の正しい組付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。

本製品は、オートバイに関する整備上の一般的な知識および技能を有する方（販売店、整備業者）が組み付けることを前提としております。それ以外の方が組み付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますので、販売店に組み付けを依頼してください。本書は、お車の取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管してください。お車を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

❑販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。

本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい組み付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

警告 取扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。**注意** 取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**要点** 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

ヤマハサービスマニュアルを参照してください。

構成部品

本製品を組み付けるには別売のサドルバッグサポートバー（XV1900CU：Q5K-YSK-071-E05、XVS1300CA：Q5K-YSK-072-E10）が必要です。

No.	品名	部品番号	数量	備考
①	サドルバッグL		1	
②	サドルバッグR		1	
③	保護テープ		2	半分に切って使用します

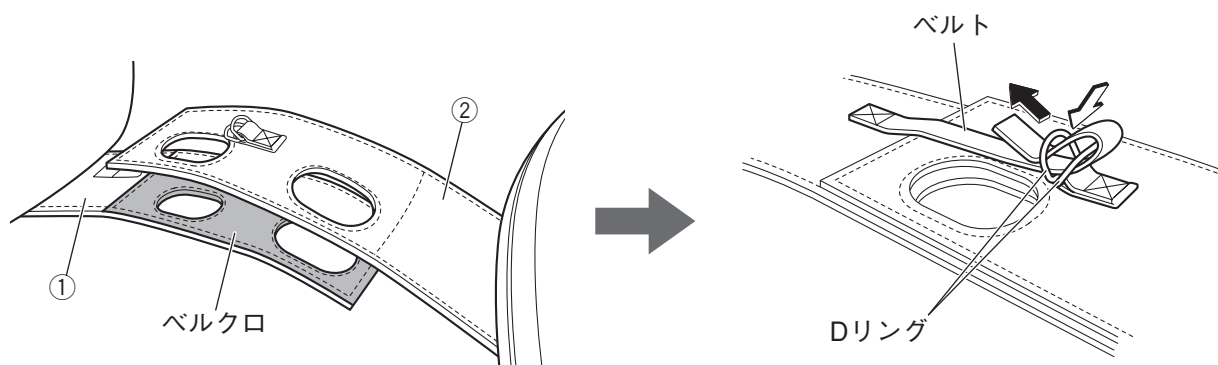
部品番号欄が空欄のものは、補修部品の設定はありません。

要点

キット以外の部品は、スタンダード車の部品を再使用します。

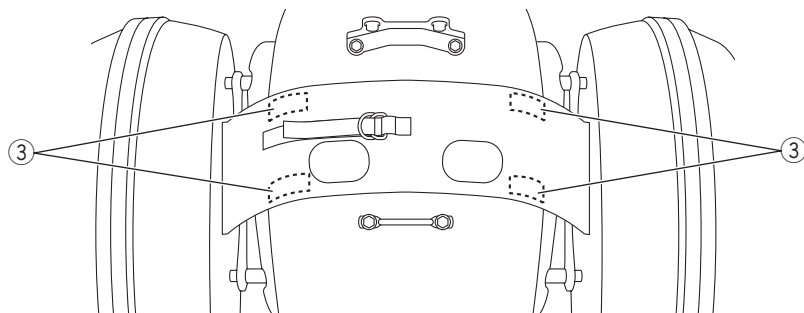
組付方法

1. スタンダード車のシングルシートとタンデムシートを取り外します。☐
2. サドルバッグL①・R②のベルクローを貼り付け、ベルトとDリングで固定します。

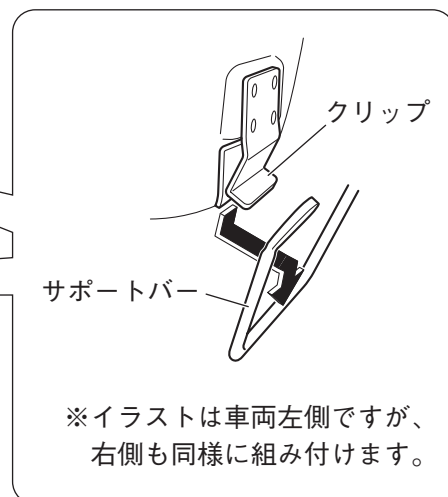
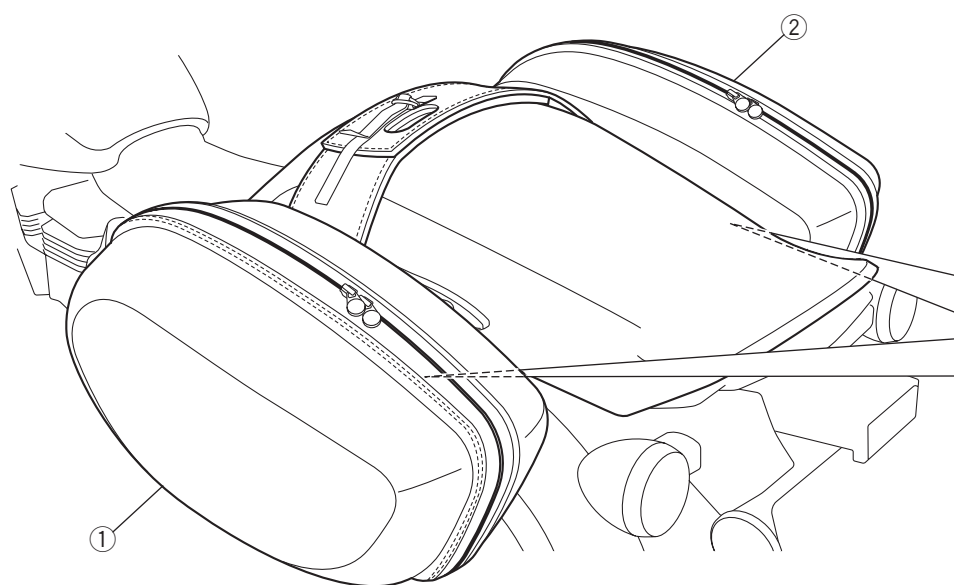


※イラストはQ5K-YSK-071-P01ですが、組付方法はQ5K-YSK-072-P02も同様です。（以下同）

3. サドルバッグL①・R②を車両に仮置きし、組み付け位置を決めます。位置が決まったらサドルバッグL①・R②を外し、バッグと車両が接する面に半分に切った保護テープ③を貼り付けます。



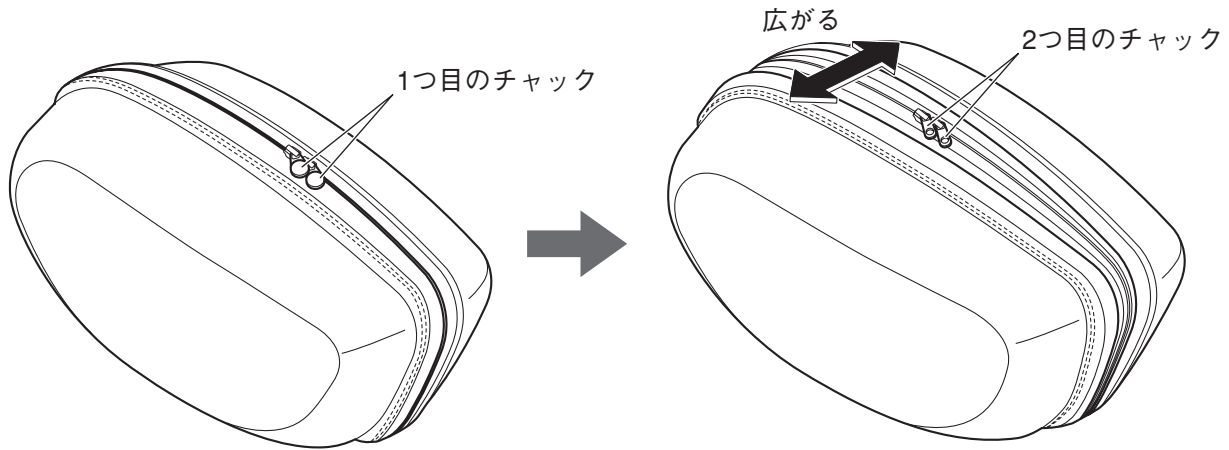
4. 再度サドルバッグL①・R②を組付位置に置き、サドルバッグL①・R②の側面にあるクリップをサポートバーに差し込みます。



5. 取り外したシングルシートとタンデムシートを組み直します。☞
タンデムシートの締め付けトルク：16Nm (1.6kg・m)

取扱方法

サドルバッグL①・R②はチャックが二重に組み付けられています。1つ目のチャックを開けるとバッグが広がり、収納量を増やすことができます。2つ目のチャックを開けると、バッグの中に物を収納することができます。



取扱上のご注意

警告

- 組付後と走行前に、各組付部に緩みがないか確認してください。走行中に部品が外れると思わぬ事故につながる恐れがあります。
- サドルバッグの最大積載量は片側3.0kgです。最大積載量を超えて荷物を積まないでください。過積載やかたよった積み方は、転倒などの事故につながります。

注意

- 角が鋭い重量物を収納するときは、パッキン等に包んでください。内装が破損する恐れがあります。
- 製品保護のため、サドルバッグを保管するときは乾拭き・陰干しをしてから湿度・温度が低く風通しのよい場所に保管してください。
- 濡れてはいけないものをサドルバッグに入れしないでください。すき間から水が入り、収納物が濡れてしまう恐れがあります。
- サドルバッグに直接水をかけないでください。すき間から水が入り、収納物が濡れてしまう恐れがあります。